令和５年度
誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生
実績報告書

有限責任事業組合吉備中央町インクルーシブスクエア

事業実績概要：「誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生」

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

概要	令和4年度デジ田交付金採択事業である「誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生」の継続事業として各領域の機能拡張を図った。また、新規事業領域として「遠隔診療」、「買い物・地域ポイント」を追加し、医療事業の充実とともに住民の利便性向上と、地域全体のWell-being向上を図った。

地域課題

- Well-being
  - 医療・健康　生活環境偏差値：40.3
  - 買い物　生活環境偏差値：-3.9
  - 移動・交通　生活環境偏差値：30.2
  - デジタル生活　生活環境偏差値：37.4
  - 地域コミュニティ　生活環境偏差値：50.7

住民の声(要望)

- Well-being調査コメント (1位：44.3%)
  - ・総合病院がなく、救急時に不安
  - ・診療科(小児科・内科・耳鼻科)の充実
  - ・産後ケア、リハビリ環境の充実
- Well-being調査コメント (2位：31.2%)
  - ・生活に必要なものを町内で買えない
  - ・ベビー用品が買えるお店が欲しい
  - ・高齢者宅への移動販売などの充実
- Well-being調査コメント (3位：30.5%)
  - ・公共交通機関が近くにない
  - ・町外のかかりつけ医への通院が大変
  - ・買い物に隣町まで行かなくてはならない
- Well-being調査コメント
  - ・インターネット環境の充実
  - ・デジタルに不慣れ、サポート体制を希望
  - ・利用シーン、価値、マイナンバー活用が不明
- Well-being調査コメント
  - ・コロナ禍で人とのかかわりが減った (49.9%)
  - ・ちょっとした相談ができる環境
  - ・高齢者、子供、障がい者が住みやすい町

事業領域

- 救急医療
- 遠隔診療（新規）
- 母子保健・児童見守り
- 介護・高齢者見守り
- 買い物・地域ポイント（新規）
- インクルーシブスクエア

事業サービス(施策)

- 機能拡張
  - 【2022年度】高齢者施設の救急搬送実装
  - 【2023年度】救急搬送全体への拡大・データ連携基盤による情報活用の実装
    - ・病院前緊急搬送補助システム「iPicss」のDX化
    - ・救急搬送におけるマイナンバーカードの利用
- 新規
  - ・医師の働き方改革に備えるデータ連携基盤を用いた遠隔診療の実装
- 新規
  - 【2022年度】母子手帳デジタル化（ウィラバ実装）
  - 【2023年度】母子・高齢者への具体的ケア(痛み可視化)サービス実装
    - ・自律神経状態からの痛み可視化サービス
- 新規
  - 【2022年度】高齢者のバイタル情報の遠隔収集・活用
  - 【2023年度】きびコンシェルジュサービスと連携データを活用した未病対策システム
    - ・健診・ワクチン接種予約システムの実装
- 新規
  - ・バーチャル商店街の構築
  - ・きびアプリへのポイント機能実装
- 新規・継続
  - 【2022年度】きびアプリ構築・実装
  - 【2023年度】きびアプリ利用促進に向けた「なんでもサポーターズ」サービス実装
    - ・きびコンシェルジュなんでもサポーターズ運用
    - ・広報・プロモーション、 ・Well-being推進(PDCA)

事業実績概要：「誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生」

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

概要	データ連携基盤を有する町民向けポータルアプリ「きびアプリ」を軸に各サービスの機能強化及び機能追加を実施。 より使いやすく、これからのまちづくりに欠かさせないアイテムとして更なる充実を図っていく。

町の情報

オンラインショップ

困りごと相談

デマンドタクシー

電子母子手帳

・・・

サービス実装報告：「iPicssのDX化・マイナンバーカード利用」

デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

サービス内容

令和５年度から運用開始した町内高齢者施設からの救急搬送に加えて、現場からの搬送にも対応し、町内から119番通報された全ての救急搬送へiPicssの運用を拡大。

さらに、救急搬送時のマイナンバーカードの利用を共通診察券(QRコード)を発行して実現。

サービス概要図

共通診察券とは

吉備中央町では、
- 救急搬送時
- 遠隔診療の受診時

医療者が必要な情報を**QRコード**1つで伝えることができるサービスを提供する。

共通診察券の準備

- スマホと**マイナンバーカード**を用意
- **「きびアプリ」**で共通診察券を発行

共通診察券(QRコード)を読取る。

共通診察券の使い方

救急搬送の時に救急隊がiPicssで**共通診察券(QRコード)**を読取り、搬送する**住民の医療情報**を入手して、搬送先の病院へ伝える。

サービス実装報告：「救急医療サービス」、「遠隔診療サービス」

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

サービス内容

・マイナンバーカードを用いて発行する二次元バーコード形式の患者ID「共通診察券」を発行（❶）

・救急搬送時に、救急隊が傷病者の共通診察券を読み取ることで、個人4情報、家族連絡先の把握に加え、マイナポータル健康・医療情報等を搬送先医師と共有（❷）

・遠隔診療時に、患者の共通診察券を読み取ることで、医師がバイタル情報、救急搬送歴、マイナポータル健康・医療情報等を参照しながら診察（❸）

サービス実装報告：「痛み計測サービス」

デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

サービス内容

痛み計測アプリ「ITAINO」を実装。
頭痛・下腹部痛・腰痛に加え、女性特有の痛みである生理痛を有するユーザー自身の痛みの可視化を実現。
計測したデータはPHR基盤に蓄積され、数値化された痛み情報は遠隔診療時に医師が確認できる。

サービス概要図

サービス実装報告：「健診・ワクチン接種予約サービス」

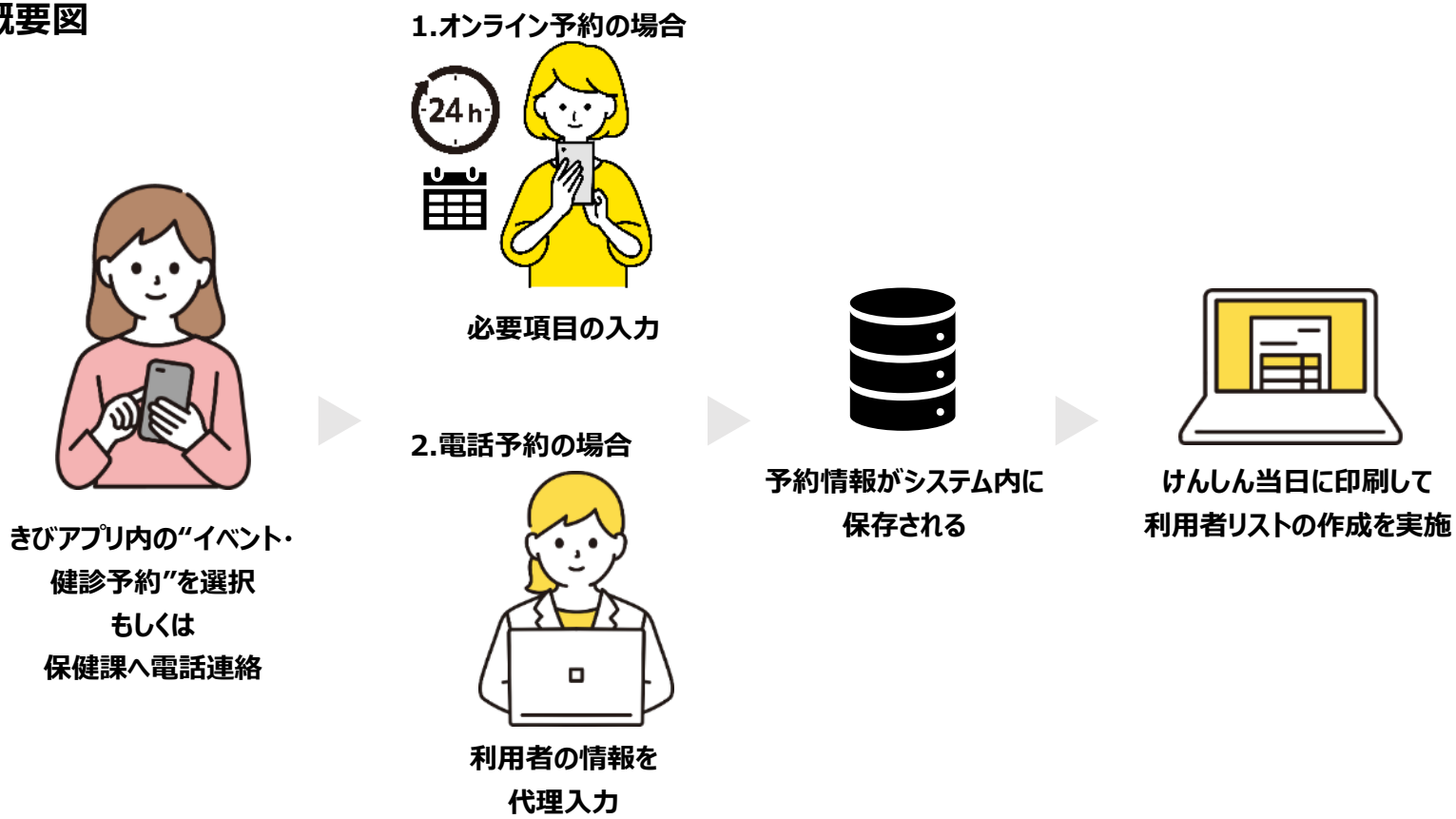
デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

サービス内容

従来、電話応対にて実施していた健診・ワクチン接種の予約業務をオンラインにより実現。また、オンライン環境を保有していない方に対しては、電話での代理予約機能により対応できるため、予約の一元管理が可能となる。

本サービスの利用に伴い、町民及び職員の負担軽減が図られる。

サービス概要図



サービス実装報告：「インクルーシブスクエア運営」

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

サービス内容

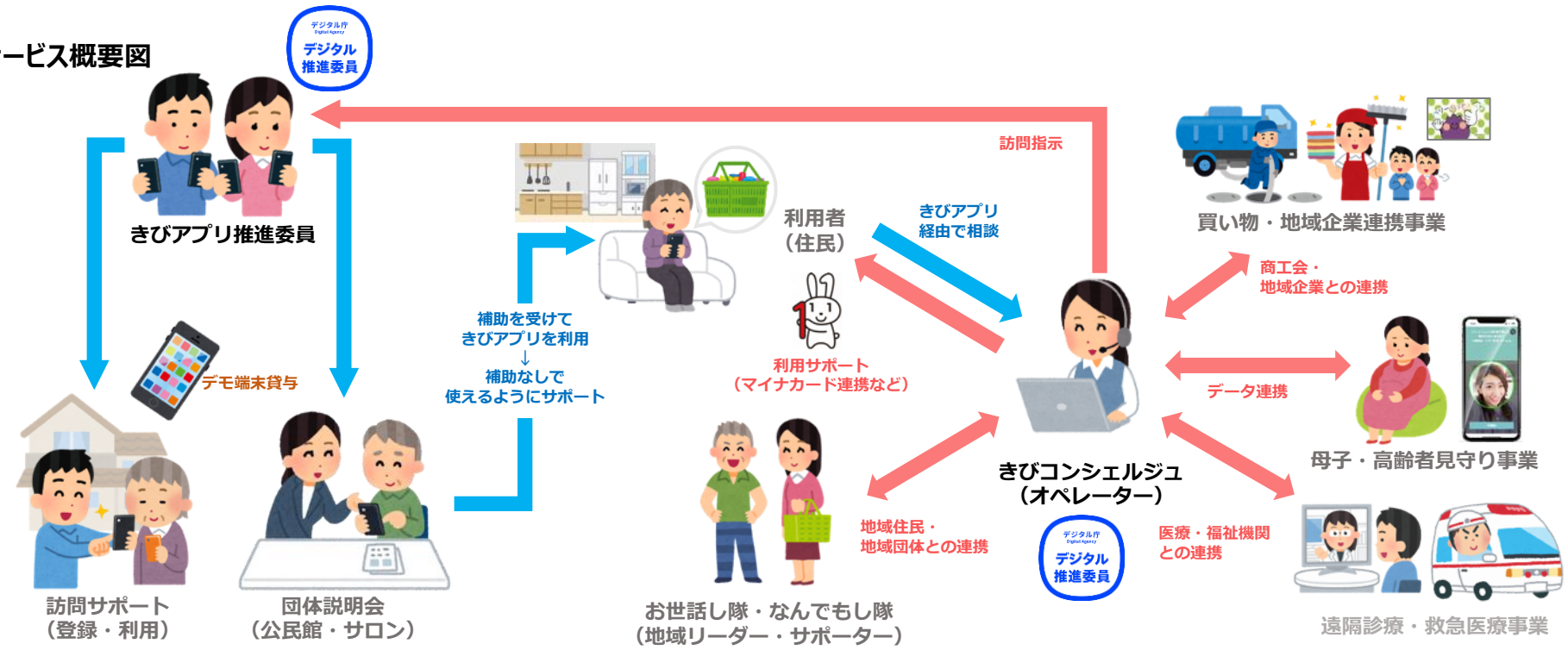
きびアプリ推進委員（デジタル推進委員）

きびアプリの普及を推進するため、地域開催のイベントへの出店、スマホ勉強会への出張、公民館・集会所・企業・団体への説明会、個人宅への個別訪問を実施。また、岡山大学の学生と連携した活動も実施。

きびコンシェルジュ（デジタル推進委員）

サービスの一元的窓口として、地域住民の困りごと・相談に対するマッチングや、アプリを使えない古いスマホやガラケーを使っている住民に対するサポート、キャリア代理店と協力した機種変更会なども実施した。

サービス概要図



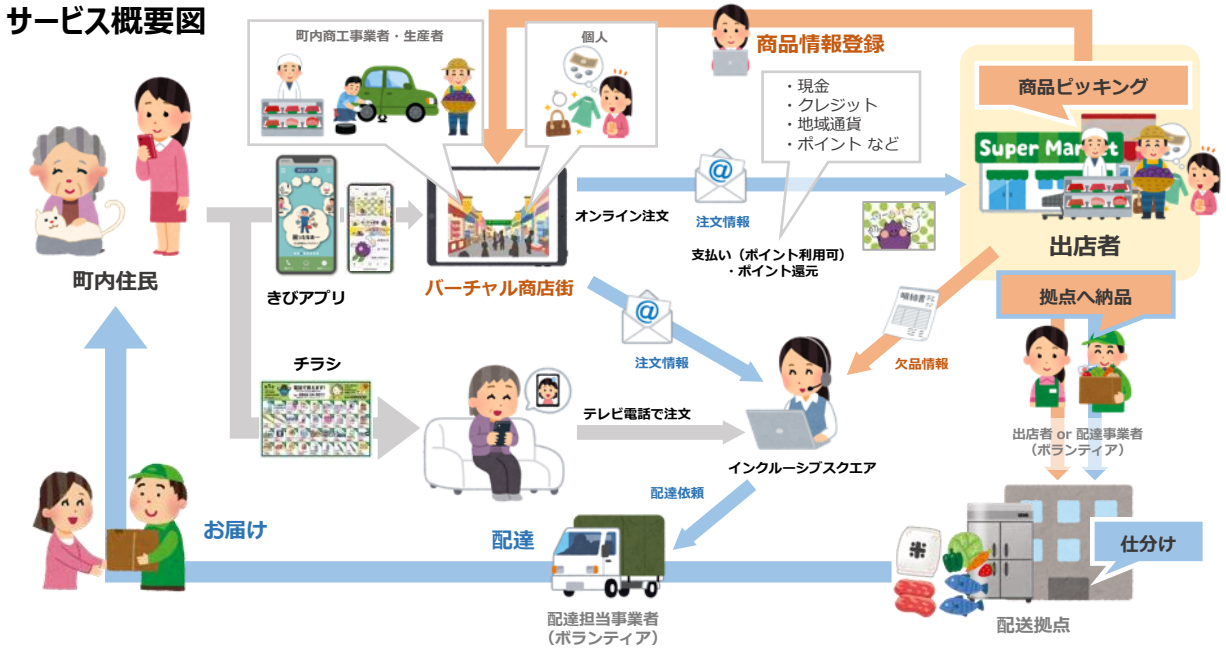
サービス実装報告：「バーチャル商店街の構築」

デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

サービス内容

Well-beingの向上のためにも買い物環境の充実が求められていることから、町商工会の協力のもと、地域商店が簡単にEC環境を作れる「オンラインショップ」を構築。住民の買い物環境の改善と併せて地域商工業の活性化を促進する。

サービス概要図



スクリーンショット

トップページ

商品カテゴリー

バーチャル商店街出店者ページ

商品ページ

活動の様子

地域商工会向け出店説明会

住民への配達の様子

アプリが使えない高齢者もチラシから注文可能

サービス実装報告：「地域企業連携システム」

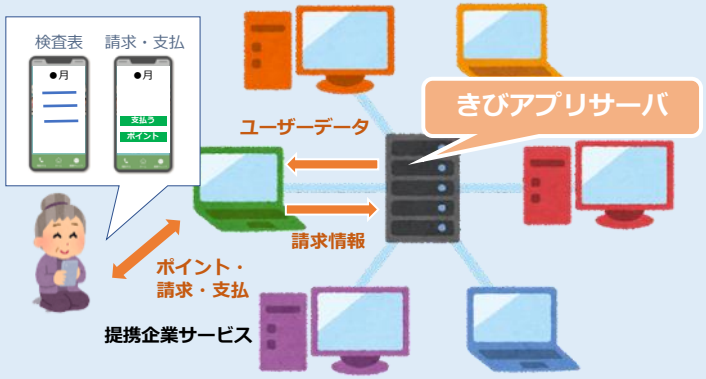
デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

サービス内容

きびアプリの利用拡大を目指して、地域内事業者ときびアプリを連動させることで管理業務のDXを推進し、削減できるコストの一部をオンライン・オフラインで使用できる地域通貨（べりーぐっどポイント）としてユーザーに還元し、アプリの利用促進を行う。また、地域企業がアプリ内で広告を出稿できる機能を開発、広告出稿による収益化も目指す。

サービス概要図

①きびアプリシステム利用



- きびアプリのユーザー情報を他サービスでも利用できる、きびアプリAPI連携機能を開発
- きびアプリ経由での**ユーザー情報・ポイントの利用、決済機能（集金代行）の利用（連携事業者のDX推進）**
- 連携によるユーザー確保（アプリ登録の推進）

商工会等と連携し連携先を増やす
→アプリの全町利用

②アプリ内広告

- 地域企業・団体の広告をきびアプリ内「地域サービス」画面に表示
- **広告出稿による収益化を目指す**

活動の様子

広告として掲載している一部の団体・企業の動画は、地域の学童など小中学生と連携し、ワークショップ形式で制作した。

サービス実装報告：「地域ポイント連携機能」

デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

サービス内容

商工会運用の地域ポイント（ベリーぐっどポイント）と連携。きびアプリ内の買い物やサービスの支払い時にポイントが貯まる・使える機能を実装。既存のベリーぐっどポイント加盟店での利用だけでなく、きびアプリ内でも使用可能となった。

サービス概要図

商工会との打ち合わせの様子

店頭設置端末

ベリーぐっどアプリ

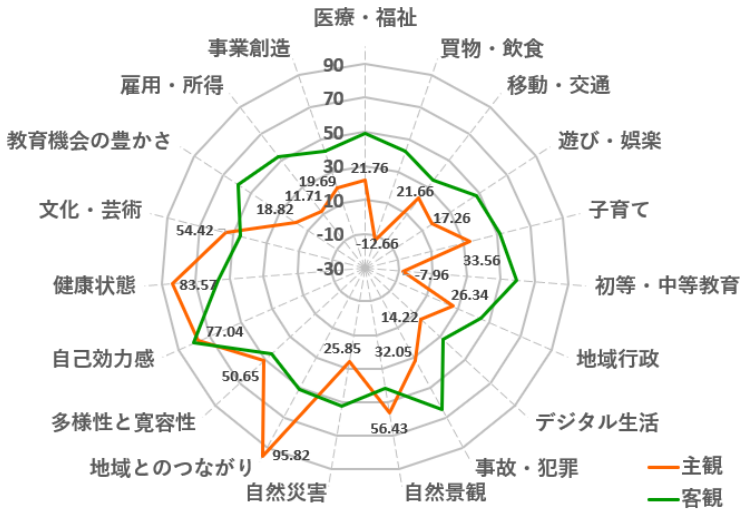
スクリーンショット

バーチャル商店街購入ページ

地域幸福度（Well-Being）指標の活用

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

● 令和５年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法	成果物（偏差値：アンケート関連項目のみ抽出）
■ アンケート調査（Well-being指標に関連事業項目を追加） ・実施期間：2023年12月14日～2024年1月12日 ・対象者：吉備中央町9地区1,000世帯（無作為抽出） ・設問数：72問（属性:4問 Well-being関連:37問 事業関連:31問 ・回答：Webおよび郵送回答（Web: 49%, 郵送:51%）、回収率 45% 40代以下では80%以上がWeb回答、60代でも46%がWeb回答	 【出典】2023年度版（令和5年度版）Well-Being調査結果 ※標準版 個別調査/市区町村 報告・反映済
調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果	
・地域の人間関係は客観指標より主観指標が高い傾向にある。 ・自分らしい生き方については、主観指標が客観指標より低く、生活環境では項目によって大きく主観が客観を下回っている ・Well-being調査の医療環境（生活環境）の主観評価では、30代～70代では若い世代ほど不満が強い傾向 ・Well-being調査の医療環境（生活環境）の救急を含めた医療環境・医療機関の充実に関しては、ポジティブな評価は概ね30%以下だが、同じ中山間地域ではあっても、地区によって若干のばらつきがある ・中山間地域として、町外への通院頻度は半年に1回程度以上が75%を超え、遠隔診療に関する設問回答者の62%が遠隔医療に関心を示している ※医療関連については次ページで補足	

● 調査結果の今後の活用方針

・当町の課題として浮き彫りになった領域における施策立案に活かしつつ、効果が乏しいと推測される事業の見直しにも活用し、限りある人的・物的資源を最大限有効活用できるよう事務事業評価へつなげる。

● 公表URL（調査結果・実施報告等のプレスリリース等）

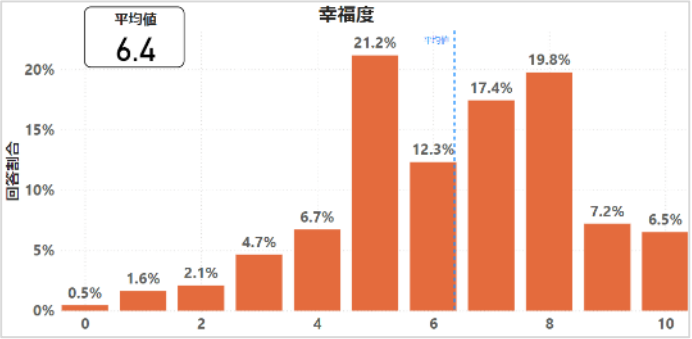
https://www.town.kibichuo.lg.jp/site/degital-denen/11954.html

地域幸福度（Well-Being）指標の活用：補足

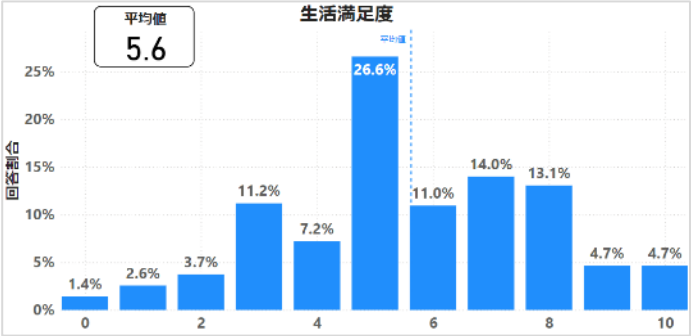
デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

● 分析ツール等を活用した結果

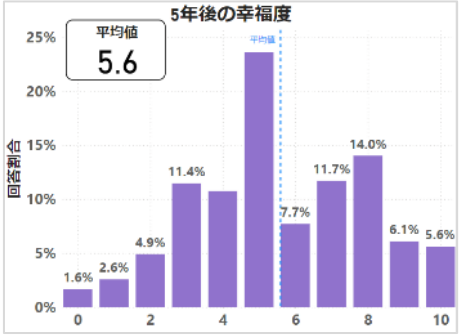
1) 幸福度



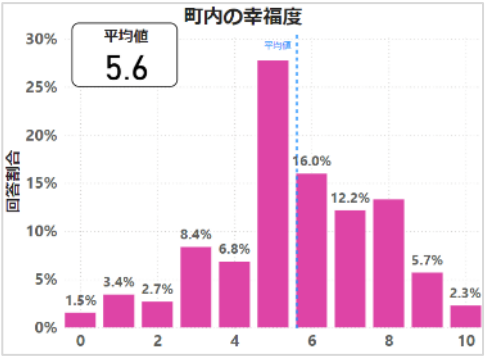
2) 生活満足度



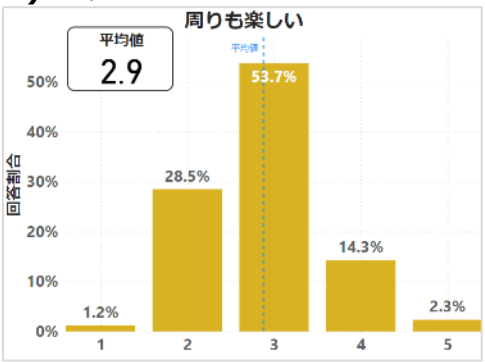
3) 5年後の幸福度

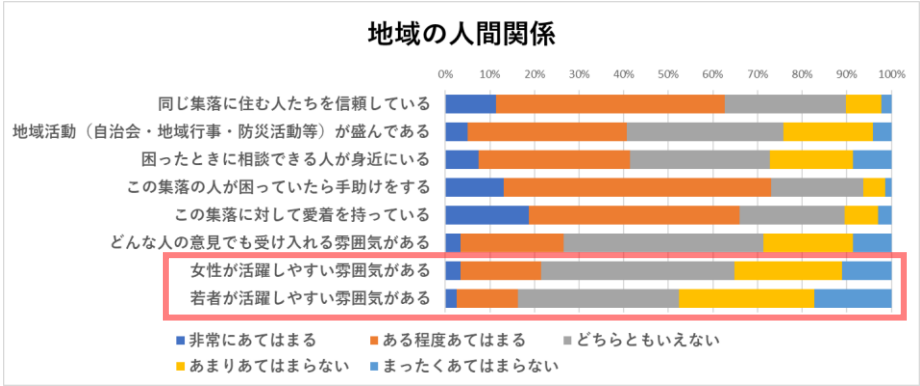


4) 町内の幸福度



5) 周りも楽しい





【出典】1)～5) 2023年度版（令和5年度版）Well-Being調査結果（標準版 個別調査/市区町村 報告・反映済）
6) アンケート結果分析

上記結果に対する分析・コメント	• 1）幸福度の平均値は6.4であり、岡山県全体の平均6.5より若干低い傾向にある。 • 2）生活満足度、3）5年後の幸福度、4）町内の幸福度は、共に平均値が5.6であり、全体の幸福度と比べ0.8ポイント下がっている傾向にある。 • 地域の人間関係の指標は全体にポジティブな回答が優勢だが、女性・若者の指標はネガティブな意見が勝っている。地域全体の幸福度の向上のためには、女性や若者の満足度を向上させる必要があることを示唆している可能性がある。

地域幸福度（Well-Being）指標の活用：補足

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

- **分析ツール等を活用した結果**　**Well-being指標の結果を活用し、さらに事業関連調査で地域の実態を深堀**

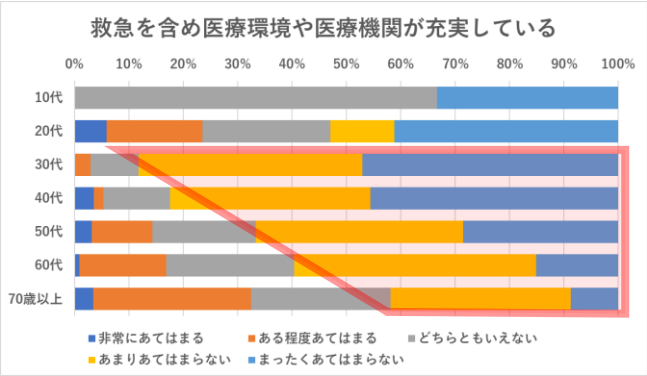


図1 年代別：医療環境の満足度（Well-being調査）

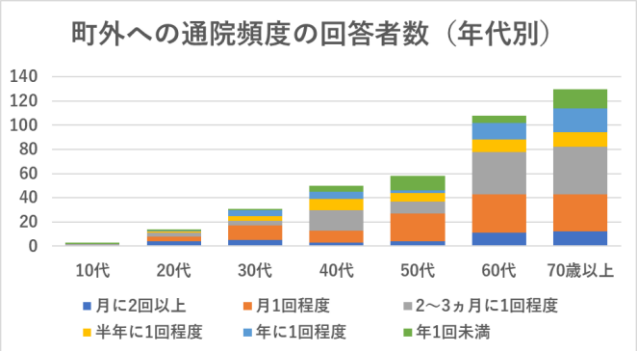


図3 町外への通院頻度（事業関連調査）

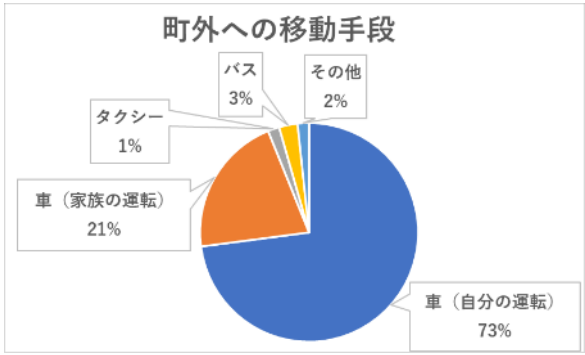


図5 町外への移動手段（事業関連調査）

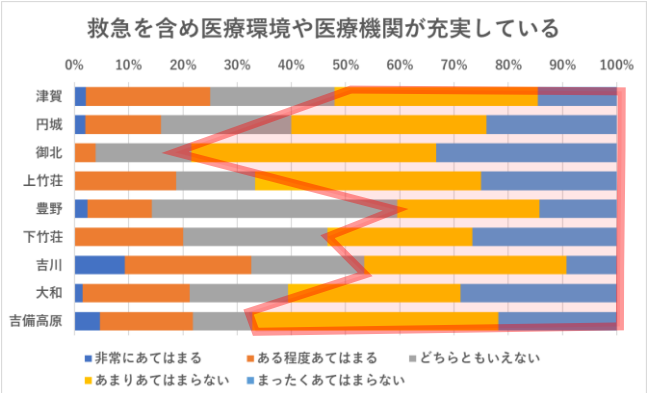


図2 地区別：医療環境の満足度（Well-being調査）

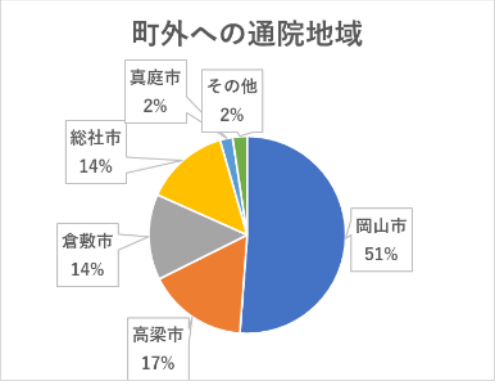


図4 町外への通院地域（事業関連調査）

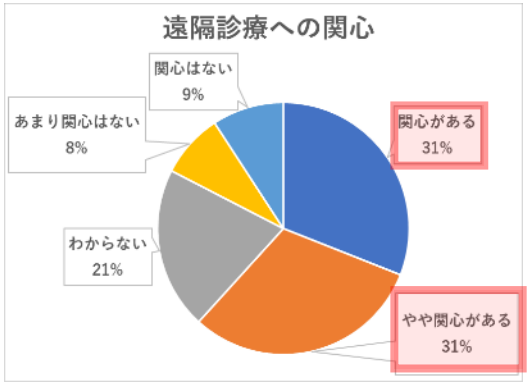


図6 遠隔診療への関心（事業関連調査）

上記結果に対する分析・コメント	・医療環境（生活環境）の主観評価は、30代～70代では若い世代ほど不満が強い（図1） ・救急を含めた医療環境・医療機関の充実に関しては、ポジティブな評価は概ね30%以下だが、地区によって若干のばらつき（図2） ・町外への通院頻度は年齢が上がるにつれ増加しており（図3）、町外への通院地域は岡山市が約半数を占める（図4） ・町外への通院の移動手段は、車が94%（高齢者は、家族が仕事を休んで送迎）（図5） ・遠隔診療に関する設問回答者の62%が遠隔医療に関心を示している（図6）

地域幸福度（Well-Being）指標の活用：補足

- **Well-being指標を活用した調査結果等を活用した事例**

「吉備中央町デジタル田園都市推進フォーラム」にて、Well-being向上をテーマに住民参加のパネルディスカッションを開催し、Well-being指標を活用した調査結果を示しながら、住民との共有と質疑応答を通した対話を実施

住民へのサービス浸透・定着のための取組

デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

デジタル社会の実現に向け「誰一人取り残されない」ことを目指し、サービス普及に当たって以下のような取組を行った。

- **高齢者サロンやスマホ教室、地域のスーパーでのアプリ登録サポート（推進委員の活動）**

公民館や集会所で定期的に開催されている高齢者サロンやスマホ教室やスーパー・イベントに出向き、アプリの紹介や登録のサポートを実施した。

高齢者サロンでの説明

スマホ教室での説明

スーパー店頭での出店

町内イベントでの出店

- **ガラケーや旧機種を使っている住民向けのスマホ機種変更サポート**

町内にはキャリアショップがないため、近隣地域の代理店と協力し、きびアプリを使えない端末を持っている住民を対象に機種変更会を実施した。

住民へのサービス浸透・定着のための取組

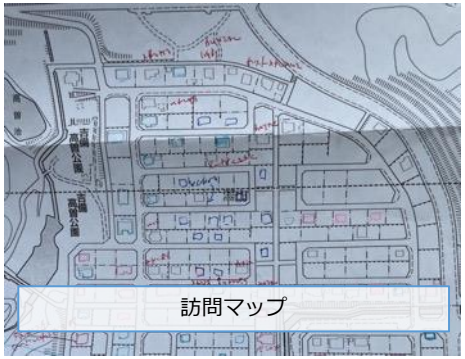
デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

デジタル社会の実現に向け「誰一人取り残されない」ことを目指し、サービス普及に当たって以下のような取組を行った。

● 個別訪問の実施

町の広報に戸別訪問の案内チラシを同封。各戸を一件一件訪問し、きびアプリの登録推進を行なった。

案内チラシ



訪問マップ

戸別訪問の様子

● 他団体等との連携

岡山大学の学生、地域子どもグループ、地域包括支援センター、地域のお祭りなど、様々な地域のグループとの連携を行なった。

岡山大学学生と高齢者サロンの皆さん

子どもグループと高齢者グループの交流

地域包括支援センターとの訪問